

○ 環境調査結果（令和 3 年度）

（１）（株）H I R A Y A M A 実施分

| 調 査 項 目 | | | 実施頻度 | 結 果 概 要 |
|------------------|------|----------------------|---|------------------|
| 岡田山の廃棄物 (掘削時) | | 27 項目 (水銀、カドミウム等) | 1, 000 m ³ ごとに 1 回 (計 42 回) | 土壌溶出量、含有量とも基準値以下 |
| 改良土 (リサイクル製品) | | 27 項目 (水銀、カドミウム等) | 800 m ³ ごとに 1 回 (計 73 回) | 〃 |
| 大気質等 | | 粉じん | 年 4 回 | 撤去開始前後で変化なし※ |
| | | アスベスト | | 〃 |
| | | 硫化水素・メタン | | 検出なし |
| 騒音・振動 | | | 〃 | 撤去開始前後で変化なし※ |
| 水質 | 地下水 | 28 項目 (水銀、カドミウム等) | 年 4 回 | 環境基準値以下 |
| | 場内排水 | | | |
| | 浸出水 | 28 項目 (水銀、カドミウム等) | 〃 | 〃 |
| 底質 (事業場出入口付近) | | ダイオキシン類 | 年 1 回 | 環境基準値以下 |

※ 基準等の設定はないため、測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

| 調 査 項 目 | | | 実施頻度 | 結 果 概 要 |
|----------------------------|-----|--------------------------|-------------------------------|---|
| 岡田山の廃棄物 (掘削時) | | 26 項目 | 月 1 回 | 土壌溶出量、含有量とも基準値以下 |
| | | ダイオキシン類 | 2 箇月に 1 回 | 環境基準値以下 |
| 土 壌 (リサイクル製品搬出 時の検査) | | 26 項目 (水銀、カドミウム等) | 年 2 回 | 土壌溶出量、含有量とも基準値以下 |
| 土 壌 (汚染洗浄後の検査) | | 26 項目 (水銀、カドミウム等) | — | 汚染土壌の受入がなかったため測定 なし |
| 大気質等 | | 一般大気、3 項目 (二酸化窒素等) | 常時 | 環境基準値、京都市環境保全基準値と も基準値以下 |
| | | 有害大気、13 項目 (水銀、ベンゼン等) | 年 1 回 | 環境基準値、京都市環境保全基準値と も基準値以下 (環境省が環境指針を設 定している項目については、全て同指 針値以下) |
| | | 粉じん (降下ばいじん) | 年 4 回 | 京都市環境保全基準値以下 |
| | | アスベスト | 年 1 回 | 撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。) |
| | | 硫化水素 | 年 1 回 | 規制基準値以下 |
| | | メタン | 年 1 回 | 撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。) |
| 騒音・振動 | | | 年 1 回 | 〃 |
| 水 質 | 地下水 | 28 項目 (水銀、カドミウム等) | 年 2 回 | 環境基準値、京都市環境保全基準値と も基準値以下 |
| | 河川水 | 35 項目 (水銀、カドミウム等) | 年 2 回 (3 地点) 年 4 回 (1 地点※) | 〃 |
| | 底 質 | 7 項目 (水銀、カドミウム等) | 年 1 回 | 暫定除去基準値以下 |
| ダイオキシン類 | | 大 気 | 年 4 回 | 環境基準値、京都市環境保全基準値と も基準値以下 |
| | | 地 下 水 | 年 1 回 | 〃 |
| | | 河川水・底質 | 年 1 回 | 〃 |
| | | 周 辺 土 壌 | 年 1 回 | 〃 |

※ 常時監視地点であるため年 4 回調査を実施している。